

支え合いの地域づくり推進委員会について

◎令和6年度開催状況

- ・第2回支え合いの地域づくり推進委員会

日時 令和6年12月19日（木）午後2時00分から

場所 長浜市民交流センター

次第・介護予防・日常生活支援総合事業とは

- ・西浅井圏域 おでかけワゴン 検証結果について
- ・グループワーク

① 車の運転が出来なくなって困ること

② 移動手段の地域資源を活用してもらうためには

《委員会でのご意見》

令和6年度は、移動手段をテーマに
委員会で検討を行いました。



① 車の運転が出来なくなって困ること

- ・通院や買い物に困る。
- ・買い物は、近所の人や子どもに頼むこともできるが、受診は自分が行く必要がある。
- ・高齢者世帯で、車の免許を返納すると、どこへ出かけるのも不便である。そのため、なかなか免許返納ができない。
- ・浅井圏域やびわ圏域などは駅までが遠く、電車を使いにくい圏域もある。
- ・バス等の交通機関があっても、自身が健康でなければ利用することが難しい。

② 移動手段の地域資源を活用してもらうためには

- ・お出かけワゴン等の車以外の移動手段を知らない人もいるので、まずは知ってもらうことが大切。周知が必要。若い人に知ってもらうならインターネットが効果的なのではないか。
- ・地域づくり協議会等と連携して、チラシに運行ルートのQRコード貼り付けて、配布していただくのはどうか。
- ・バス停に座る場所や屋根を設け、使いやすいバス停を作り、バスを活用してもらう。
- ・高齢者だけでなく、子ども達など様々な方に利用してもらう。

～今回の西浅井圏域の取り組み報告をきいて～

- ・西浅井圏域のお出かけワゴンで地域の人がよく利用するドラッグストアに行けるように、運行ルートの見直しを検討できるといいのでは。
- ・お出かけワゴンで、平和堂木之本店まで直行できるとよい。

(参考)

支え合いの地域づくり推進委員会とは

地域住民団体やボランティア、NPO 等多様な主体による、地域における自立した生活を支援する取組を把握・整理し、また既存の地域資源では対応できていない生活支援ニーズを特定し、資源開発を行うことが重要とされています。

そのため、第3層協議体（自治会単位）、あるいは第2層協議体（市内15地区社会福祉協議会単位）の取組状況や成果、課題等をすいあげ、共有し市全域全体への横展開を図る、あるいは課題解決に向けて連携強化を図ることを目的とします。

また、これらの取組を介護保険制度の介護予防・日常生活支援総合事業と関連付けた効果的な地域の支え合い体制づくりを検討していく場でもあります。

■図表：地域ぐるみで高齢者を支えるしくみ

